

農産物の計画的生産・出荷を
検討する研究会を開催

ACTIVE KUMIAI



安全・安心・新鮮な農産物等を消費者に提供し、生産と消費が一体化した産地づくりを推進している風土記の丘農産物直売所(一般社団法人中道農産物加工直売組合)では、直売所で品不足状態となる冬期(12月～3月期)の品揃え対策の検討を行うための「特産品・出荷農産物生産研究会」(以下、生産研究会)を設置し、定例的に開催を行ってきた。

活動開始から3年目を迎えた生産研究会は、組合の生産担当理事2名と甲府市内の各地区から選ばれた9名の組合員の計11名で構成され、直売所のブランドとなる野菜の生産や一年を通じての店頭の商品揃えを充実させるための出荷システム構築や栽培計画の検討を行い、組合員(生産者)に農産物の計画的な生産についての提案を行っている。

特に、路地野菜が不足する冬場の品揃え対策については、多くの直売所が直面している共通した課題となっている。当直売所も、冬場の品不足を解消するためにこれまでは市場からの仕入れに頼ってきたが、生産研究会によって農産物リストを作成し、不足する野菜の種類と数量を把握できたことで組合員に直売所の実態を知ってもらい、生産協力についての共通認識が高まった。

12月から3月にかけて不足する秋冬野菜(玉ねぎ、ごぼう、人参、山芋、ミニトマト、キャベツ、レタスなど)を計画的に栽培するために、それぞれの担当者を決め、栽培の実証設計と併せ管理生育状況の報告を随時行うなど、問題解決に向けての取り組みが始まっている。

また、当直売所のオリジナルブランド野菜についても、現在、最終段階に向けての取り組みが進んでおり、今秋には具体的なブランド名の発表が予定され、今後の展開が期待されている。

平成25年度栽培講習会資料

平成25年秋冬期栽培野菜の実証設計・管理生育状況

品名	12月		1月		2月		合計
	生産	出荷	生産	出荷	生産	出荷	
玉ねぎ							
ごぼう							
人参							
山芋							
ミニトマト							
キャベツ							
レタス							
その他							
計							

こんなに足りない秋冬野菜

仕入販売野菜(12月～2月)の実績

研究会で検討してきた資料(25年度)